

マジックゲートメモリースティック リーダー/ライター

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災
や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取
り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、
製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見
られるところに必ず保管してください。

MSGC-US10



⚠️警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあります。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

- 安全のための注意事項を守る

下記のものをお読みください。

この取扱説明書の注意事項

お使いになるパソコンに付属の取扱説明書

- 故障したら使わずに、すぐにお買い上げ店またはテクニカルインフォメーションセンターに修理をご依頼ください。
- 万一異常が起きたら

- 煙が出たら
- 変なにおいや音がしたら
- 内部に異物が入ったら
- 落としたり、破損したときは

お買い上げ店または、テクニカルインフォメーションセンターに修理を依頼する

⚠️注意

下記の注意事項を守らないと、おもわぬけがをしたり、周辺の家財に損害を与えたことがあります。

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や虫の入りやすい場所、直射日光が当たる場所、熱器具の近くに置かない

火災や感電の原因となることがあります。



禁止

警告表示の意味

この取扱説明書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠️警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠️注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたことがあります。

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止

曲げたり、落としたり、強い衝撃を与えない



注意

MSGC-US10の“メモリースティック”挿入口に異物を入れない

発煙・火災の原因となることがあります。



禁止

分解や改造をしない

火災や感電の原因となります。内部の点検や修理は、テクニカルインフォメーションセンターにご依頼ください。



分解禁止

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると、火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときはテクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。



禁止

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

付属のソフトウェアについて

権利者の許諾を得ることなく、本機に付属のソフトウェアおよび取扱説明書の内容の全部または一部を複製すること、およびソフトウェアを賃貸することは、著作権法上禁止されています。

本機に付属のソフトウェアを使用したことによって生じた金銭上の損害、逸失利益、および第三者からのいかなる請求等につきましても、当社は一切その責任を負いかねます。

万一、製造上の原因による不良がありましたらお取り替えいたします。それ以外の責はご容赦ください。

本機に付属のソフトウェアは、指定された装置以外には使用できません。

本機に付属のソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。ご了承ください。

本機に付属していないソフトウェアを使用した際の動作は保証しておりません。

Program ©1999, 2000, 2001 Sony Corporation

Documentation ©2001 Sony Corporation

- OpenMGおよびそのロゴはソニー株式会社の商標です。
- "MagicGate Memory Stick"(" マジックゲート メモリースティック ")および  は、ソニー株式会社の商標です。
- "Memory Stick"(" メモリースティック ")および  は、ソニー株式会社の商標です。
- "MagicGate"(" マジックゲート ")および **MAGICGATE** は、ソニー株式会社の商標です。
- IBMおよびPC/ATは米国International Business Machines Corporationの登録商標です。
- MicrosoftおよびWindowsは米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標です。

Copyright ©1995 Microsoft Corporation. All Rights Reserved.

Portion Copyright ©1995 Microsoft Corporation

- MMXおよびPentiumはIntel Corporationの商標または登録商標です。
- その他、本書で登場するシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中ではTM、[®]マークは明記していません。

目次

△警告・△注意 安全のために	2
 お使いになる前に	
こんなことができます	7
必要なシステム構成	10
準備1：付属品を確かめる	12
準備2：OpenMG Jukeboxソフトウェアをインストールする	13
準備3：接続する	17
この取扱説明書について	18
 基本的な使いかた	
リムーバブルディスクとして使う	20
 OpenMG Jukeboxを使って音楽を楽しむ	
OpenMG Jukeboxについて	21
パソコンから“MG メモリースティック”に音楽を転送する (チェックアウト)	25
MP3、WAVファイルなどの取り込み(インポート)について	28
 その他	
“メモリースティック”使用上の注意	30
主な仕様	31
ソフトウェアをアンインストール(削除)する	32
故障かな？と思ったら	33
著作権保護による制限事項	34
アフターサービス	35
裏表紙	

こんなことができます

“メモリースティック”について

“メモリースティック”は、小さくて軽く、しかもフロッピーディスクより容量が大きい新世代のIC記録メディアです。“メモリースティック”対応機器間でのデータをやりとりするのに便利なだけでなく、着脱可能な外部記録メディアの1つとしてデータを保存するときもお使いいただけます。

本機で使用できる“メモリースティック”的種類

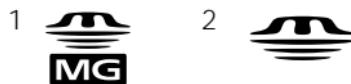
“メモリースティック”には以下の2種類があり、本機ではどちらも使用できます。

- ・著作権保護技術(マジックゲート)を搭載した“マジックゲートメモリースティック”(以下、“MGメモリースティック”)
- ・マジックゲートを搭載していない一般の“メモリースティック”

音楽などの著作権保護が必要なデータは、“MGメモリースティック”と本機などマジックゲート対応機器の組み合わせで記録や再生ができます。1枚の“メモリースティック”に異なる種類のデータを混在して記憶することも可能です。

例えば、音楽データが入っている“MGメモリースティック”的空き部分に、画像データを記録することもできます。

“MGメモリースティック”をご購入の際は下記1のマークのついた“MGメモリースティック”を、一般的の“メモリースティック”をご購入の際は、下記2のマークのついた“メモリースティック”をお買い求めください。



✿ マジックゲート(MagicGate)とは?

マジックゲートは、“MGメモリースティック”と対応機器(本機など)に搭載している著作権保護技術です。対応機器と“MGメモリースティック”的間でお互いが著作権保護に対応しているかどうかを判断する認証と、データの暗号化を行います。認証された機器以外では、著作権のあるデータは再生できません。

こんなことができます(つづき)

■ご注意

- “メモリースティック”をお使いになるときは、以下の点にご注意ください。
 - “メモリースティック”の端子部に手や金属で触れないでください。
 - ラベルの貼り付け部には、専用ラベル以外は貼らないでください。
 - 強い衝撃を与えたたり、曲げたり、落としたりしないでください。
 - 分解したり、改造したりしないでください。
 - 水にぬらさないでください。
 - 以下のような場所でのご使用や保存は避けてください。
 - 高温になった車の中や炎天下など気温の高い場所
 - 直射日光のあたる場所
 - 湿気の多い場所や腐食性のある場所
 - 持ち運びや保管の際は、専用の収納ケースに入れてください。
 - 大切なデータはバックアップをとっておくことをおすすめします。
 - マジックゲートによって著作権保護されたデータは、“MG メモリースティック”以外では扱えません。
 - 下記の場合、記録したデータが消えたり壊れたりすることがあります。
 - アクセスランプ点灯中に“メモリースティック”を抜いたり、USBケーブルを抜いた場合
 - 静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所で使用した場合

“ MG メモリースティック ”を使う

■ご注意

- ・「OpenMG Jukebox」から“ MG メモリースティック ”に転送(チェックアウト)したデータは、「 Hifi フォルダ」というフォルダにまとまって入っています。 Hifi フォルダは、エクスプローラなど「 OpenMG Jukebox 」以外では絶対に編集しないでください。編集したデータは再生やチェックインができません。また、編集した場合に損失したデータの補償はいたしかねます。
- ・すでにデータが書き込まれている“ MG メモリースティック ”をフォーマットすると、音楽データも含めすべてのデータが消去されてしまいます。誤って大切なデータを消すことがないようご注意ください。
なお、フォーマットによって損失した音楽データの補償はいたしかねます。
- ・あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。
- ・本機および“ メモリースティック ”などの不具合により、録音でダウンロードができなかった場合および音楽データが破損または消去された場合、データの内容の補償はいたしかねます。

必要なシステム構成

付属のソフトウェアをお使いいただくには、次のようなハードウェア、ソフトウェアが必要です。

以下の性能を満たしたIBM PC/AT互換機(NEC PC-98シリーズとその互換機では動作保証いたしません。また、Macintoshなどでは動作しません)

- CPU : MMXテクノロジーPentiumプロセッサー233MHz以上 (Pentium II 400MHz以上推奨)
- ハードディスクの空き容量 : 150MB以上 (お使いのWindowsのバージョンや音楽ファイルの扱う量に比例して空き容量が必要です。)
- RAM : 64MB以上
- CD-ROMドライブ(インストール及び音楽CDの録音用)
- サウンドボード
- USBポート(本機はUSB2.0 Full Speed(従来のUSB1.1)をサポートしています。)

OS : Windows 98/ Windows 98 Second Edition/ Windows 2000 Professional/ Windows Me/ Windows XP Home Edition/ Windows XP Professional標準インストール(日本語版のみ)
以下の環境での動作保証はいたしません。

- Windows 95、Windows NT、Windows 2000のその他のバージョン(Serverなど)
- Windows 3.1/95からWindows 98(またはWindows 98 Second Edition/Windows Me)、またはWindows Me/Windows 2000 Professional からWindows XPへのアップグレード環境
- Windows 2000(またはWindows XP)とWindows 98(またはWindows 98 Second Edition/Windows Me)およびその他のOSのマルチゴート環境

ディスプレイ : ハイカラー(16ビットカラー)以上(800x480ドット以上)

インターネット音楽配信サービスを利用する場合は、インターネットへの接続環境。

■ご注意

推奨環境のすべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。

■ご注意

著作権保護のため、付属のソフトウェアでの再生中は、光デジタル出力機能を備えた機種では光デジタル出力が制限される場合があります。

Windows 2000/ Windows XPでのご使用について

Windows 2000/ Windows XP上でOpenMG Jukeboxを動作させる場合は、下記の制限があります。

- ・インストールは管理者用のアカウント(Administrator)でログオンしてから行ってください。
管理者用のアカウントでのログオン方法については、お使いのパソコンのマニュアルなどをご覧ください。
- ・使用時は管理者権限(Administrators)または標準ユーザー権限(Power Users)のユーザーでログオンしてください。
- ・OpenMG Jukebox起動中は、PCカード接続のCD-ROMドライブを抜き差ししないでください。お客様の大切なデータが失われる場合があります。
- ・Windows 2000ではProfessionalでのみ、Windows XPではProfessional、Homeの両方のEditionでお使いになれます。
- ・NTFSフォーマットは、標準インストール(工場出荷時)でのみお使いになれます。

Windows XP/ Windows Meでのシステムの復元について

Windows XPまたはWindows Millennium Editionをお使いの場合、システムツール「システムの復元」を実行すると、OpenMG Jukeboxで管理している曲を再生できなくなることがあります。

そのため、「システムの復元」を実行する前には、必ずOpenMG Jukeboxで管理している曲データをバックアップしてください。「システムの復元」を実行したあと、バックアップしたデータを復元すると、OpenMG Jukeboxで管理している曲を再生できるようになります。
バックアップの方法についてはOpenMG Jukeboxのヘルプをご覧ください。

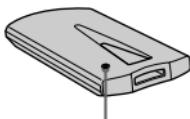
■ご注意

「システムの復元」を実行したために音楽データが再生できなくなった場合、エラーダイアログが表示されることがあります。その場合、表示される画面に従ってください。

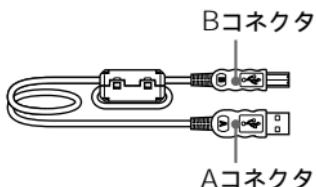
準備1：付属品を確かめる

以下の付属品がそろっているか確認してください。不足している付属品があるときは、お買い上げ店またはテクニカルインフォメーションセンターにご連絡ください。

- マジックゲートメモリー
スティックリーダー／
ライター(1)
- 専用USBケーブル(1)
- OpenMG JukeboxソフトウェアCD-ROM(1)
- 取扱説明書(1)
- 保証書(パッケージの裏面
に記載)(1)
- カスタマーご登録のお願い
(1)
- その他印刷物一式

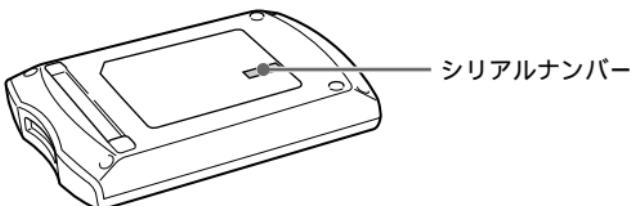


アクセスランプ



シリアルナンバーについて

カスタマー登録の際に本機のシリアルナンバーの入力が必要となります。
シリアルナンバーは本機の裏面に印刷されています。



準備2 : OpenMG Jukeboxソフトウェアをインストールする

お使いになる前に

■ご注意

本機をパソコンにつなぐ前に、必ずソフトウェアのインストールを行ってください。また、つないだ状態でインストールを行わないでください。必ずインストール完了後、パソコンを再起動してからつなぎ、それからOpenMG Jukeboxを起動してください。

お手持ちのパソコンのハードディスクに、OpenMG Jukeboxソフトウェアをインストールします。あらかじめパソコンの電源を入れ、Windowsを起動しておきます。

すべてのWindowsのプログラムを終了させてから、下記の手順でソフトウェアをインストールしてください。

Windows 2000/ Windows XPをお使いの場合は
管理者用のアカウント(Administrator)でログオンしてください。

旧バージョンのOpenMG Jukeboxがインストール済みの場合は
タスクトレイにOpenMG Jukeboxが常駐している場合はタスクトレイ
からはずしてください。

- 1 OpenMG Jukeboxインストール用CD-ROMをCD-ROMドライブに入れる。
CD-ROMを入れると、インストーラが自動的に起動して、「OpenMG Jukebox 2.2インストール画面」が表示されます。
- 2 「OpenMG Jukebox」または「ドライバ」をクリックして選ぶ。
 - 初めてOpenMG Jukeboxをインストールする場合
「OpenMG Jukebox」

準備2：OpenMG Jukeboxソフトウェアをインストールする(つづき)

- ・旧バージョンのOpenMG Jukeboxをインストールしている場合 「OpenMG Jukebox」
- ・既にOpenMG Jukebox 2.2をインストール済みで、新しい外部機器・メディアのドライバのみを追加する場合 「ドライバ」

3 「MSGC-US10」をクリックして選ぶ。

4 [インストール]をクリックし、画面の指示に従って操作する。

タスクトレイに*OpenMG Jukebox*が常駐している場合
なにもインストールされずにインストーラが終了します。タスクトレイから*OpenMG Jukebox*をはずしてから、再度インストーラを起動してください。

インストールが完了すると、再起動が必要な場合にはパソコンが再起動します。

5 本機をパソコンにつなぐ。

タスクトレイに*OpenMG Jukebox*が常駐するように設定した場合

OpenMG Jukebox 2.2をインストール後、初めて本機を接続するときは、その前に一度タスクトレイから*OpenMG Jukebox*をはずしてください。2回目以降は必要ありません。

6 *OpenMG Jukebox*を起動する。

■ご注意

インストールしたフォルダは*OpenMG Jukebox*ソフトウェアが使用します。削除、移動、内容の変更などは行わないでください。Windowsのエクスプローラ上で一般的のファイルのように管理すると、再生できなくなってしまうことがあります。

旧バージョンのOpenMG Jukeboxをインストールしている場合

既にお使いのパソコンにOpenMG Jukebox Ver.1.X、OpenMG Jukebox 2.0、OpenMG Jukebox 2.1(VAIOプリインストールのみ)をインストールしてある場合、そのまま手順2で「OpenMG Jukebox」を選択してインストールしてください。

旧バージョンのOpenMG Jukeboxは自動的にアンインストールされます。旧バージョンのOpenMG Jukeboxで登録した曲データはVer.2.2用に自動変換されるので、Ver.2.2をインストールしてからもお使いになれます。

※ヒント

アンインストール中に「共有ファイルを削除しますか？」のダイアログボックスが表示されます。

「すべてはい(A)」をクリックすると、「本当に削除しますか？」と表示されるので「はい」を選択してください。

旧バージョン(OpenMG Jukebox 1.X、OpenMG Jukebox 2.0)のCD-ROMが付属されているネットワークウォークマン/ミュージッククリップを新たに追加する場合
OpenMG Jukebox 2.2インストール後に、新たな外部機器として追加する場合は、接続する前に、必ずOpenMG Jukebox 2.2のインストール用CD-ROMを使用し、13ページの手順2で「ドライバ」を選択して該当する機種のドライバをインストールしてください。

一度OpenMG Jukebox Ver.2.2をインストールした後に、旧バージョンを上書きインストールして使用することはできません。誤って上書きインストールすると登録した曲データを全て失う場合がありますので、必ずインストールを中断してください。

■ご注意

Ver.2.2を一度アンインストールしてから旧バージョンのCD-ROMを使用してインストールする必要がある場合、それまでにOpenMG Jukeboxに登録した曲データは全て失われてしまいますので、必ずバックアップツールを使用して曲データをバックアップしてください。バックアップツールの方法については、OpenMG Jukeboxのオンラインヘルプをご覧ください。

なお、本機はOpenMG Jukebox Ver.1.Xとの組み合わせではお使いになれません。

本機が認識されない場合のご注意

OpenMG Jukebox上で本機が認識されない場合は
Windowsの「デバイスマネージャ」画面で、本機が正しく認識されている
か確認してください。

「デバイスマネージャ」画面上で、マジックゲートメモリースティッククリー
ーダー/ライターに「！」のマークが付いている場合、本機は正しく認識さ
れていません。この場合は、本機のドライバを再インストールする必要が
あります。

「デバイスマネージャ」画面で、マジックゲートメモリス
ティッククリーダー / ライターの状態を確認するには

- 1 Windowsの[スタート]メニューの[設定] - [コントロールパネル]をクリックする。
* Windows XPでは、[スタート]メニューの[コントロールパネル]を
クリックする。
- 2 コントロールパネルの[システム]をダブルクリックする。
「システムのプロパティ」画面が表示されます。
* Windows XPでは、コントロールパネル表示が「クラシック表示」では
[システム]をダブルクリック、「カテゴリ表示」では[パフォーマンスと
メンテナンス]をクリックし、[システム]をクリックする。
- 3 [ハードウェア]タブをクリックし、[デバイスマネージャ]をクリックする。
「デバイスマネージャ」画面が表示されます。

💡ヒント

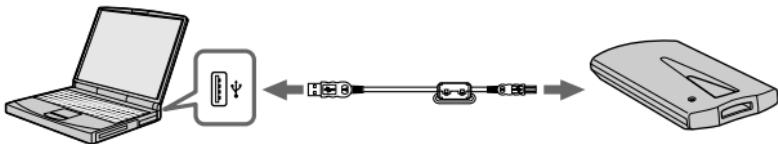
お使いのオペレーティングシステムによっては、[ハードウェア]タブが
ありません。この場合、[デバイスマネージャ]タブをクリックすると、
「デバイスマネージャ」画面が表示されます。

- 4 [その他のデバイス]をダブルクリックし、その下の「！」
が付いた[不明なデバイス]を選択し、削除する。
- 5 ドライバが既にインストールされている場合：
お使いのマジックゲートメモリースティッククリーダー / ラ
イターを再接続する。
ドライバがインストールされていない場合：
ドライバをインストールする。

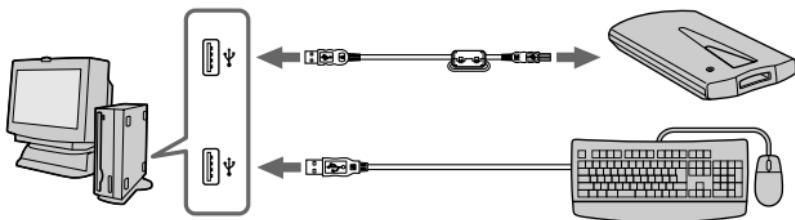
準備3：接続する

以下のように接続した場合に、本機の動作を確認しています。

- 1** パソコン本体のUSBポートと本機を、専用USBケーブルで接続し、他のUSBポートには何も接続されていない場合



- 2** USBキーボードとマウスが標準で装備されているパソコンで、USBキーボードをパソコン本体のUSBポートに接続し、もう1つのポートには専用ケーブルで本機を接続した場合



■ご注意

- 1台のパソコンに2台以上のUSB機器(キーボード、マウスを除く)を接続した場合は動作を保証いたしません。
- 専用USBケーブルは必ずパソコン本体のUSB端子に接続してください。
キーボードやハブ等のUSB端子との接続については、動作保証しておりません。
- 同時にお使いになるUSB機器によっては、正常に動作しないことがあります。
- 推奨環境のすべてのパソコンについて、動作を保証するものではありません。

この取扱説明書について

オンラインヘルプの使いかた

画面の見かた



・左フレーム

目次やキーワードが表示されます。[目次] [キーワード] [検索] の各タブをクリックして、表示を切り換えます。

・右フレーム

説明が表示されます。文中の下線部分をクリックすると、関連する説明が表示されます。

説明を探すには

左フレームの各タブをクリックして説明を探す方法は次のとあります。

・[目次] タブ

クリックすると、目次が表示されます。

目次の項目をクリックするか、ダブルクリックすると、右フレームに説明が表示されます。

・[キーワード] タブ

クリックすると、キーワードの一覧が表示されます。

説明を探したい言葉の先頭の何文字かを入力するか、または、一覧からキーワードを選択して[表示]をクリックすると、右フレームにキーワードに関する説明が表示されます。

・[検索] タブ

クリックすると、左フレームの表示が切り換わります。

[キーワードを入力してください] テキストボックスに、探したい言葉の何文字かを入力して[検索開始]をクリックし、一覧表示される項目から説明を見たい項目を選択して[表示]をクリックすると、右フレームに説明が表示されます。(文中では、入力した言葉が反転して表示されます。)

▶ 基本的な使いかた

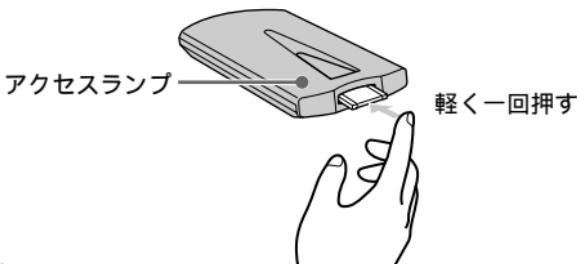
リムーバブルディスクとして使う

他の機器と画像データなどをやりとりをする

ソニーデジタルビデオカメラレコーダーやデジタルスチルカメラなどの“メモリースティック”対応機器で“メモリースティック”に動画や静止画を取り込み、その“メモリースティック”を本機の“メモリースティック”挿入口に差し込むことにより、画像データファイルとして取り込むことができます。詳しくは、お使いになる機器の取扱説明書をご覧ください。

“メモリースティック”を取り出す

- 1 エクスプローラなど、本機を使用しているソフトウェアを閉じる
- 2 アクセスランプが点灯していないことを確認し、“メモリースティック”を取り出す
“メモリースティック”を奥まで押し込みます。いったん手を離し、“メモリースティック”を取り出してください。



■ご注意

- アクセスランプが点灯しているときに“メモリースティック”を取り出さないでください。データが失われるおそれがあります。
画像ファイルなどの大容量データの読み出しに時間がかかる場合がありますので、“メモリースティック”を取り出す際はご注意ください。
- 本機の“メモリースティック”挿入口から“メモリースティック”を取り出すときに、“メモリースティック”を押して指を離すと、“メモリースティック”が勢いよく飛び出る場合があります。最後まで指を添えて取り出すようにしてください。

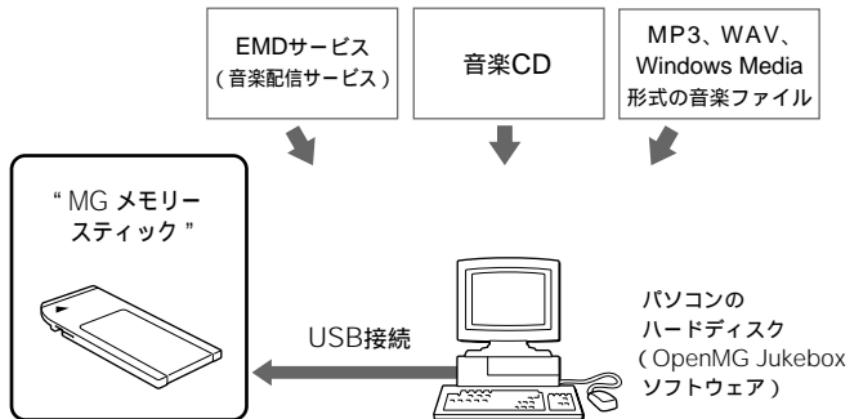
OpenMG Jukeboxについて

OpenMG Jukeboxでできること

OpenMG Jukeboxは、ソニーの開発した著作権保護技術「OpenMG」を採用し、デジタル音楽コンテンツをコンピュータのハードディスクに保存して、コンピュータ上で楽しめるソフトウェアです。ハードディスクに保存した音楽は“MGメモリースティック”に転送(チェックアウト)して、持ち出して聞くことができます。OpenMGの著作権保護技術により、著作権者の意思に沿った音楽データの記録・再生が可能となります。

2つの著作権保護技術*「MagicGate」と「OpenMG」の搭載により、著作権者の意思に沿った音楽データの記録・再生が可能です。

付属の専用OpenMGソフトウェアOpenMG Jukeboxを使用して、パソコンのハードディスクに保存した音楽データを“MGメモリースティック”に転送し、記録します。



* 本機の著作権保護技術は、SDMI(Secure Digital Music Initiative)の規格に準拠しています。

OpenMG Jukeboxについて(つづき)

OpenMG Jukeboxでは、以下の方法でデジタル音楽データをパソコンのハードディスクに取り込むことができます。

- ・インターネットなどを利用した音楽配信サービス
イーエムディー(EMD=Electronic Music Distribution)で音楽をダウンロード。
- ・パソコンのCD-ROMドライブからハードディスクに音楽CDを録音
(音声圧縮技術ATRAC3で圧縮)
- ・既存のMP3、WAV形式の音楽ファイルをOpenMG方式のATRAC3形式に変換(28ページ)

OpenMG Jukeboxで管理する音楽データは、すべてOpenMG方式で暗号化してパソコンのハードディスクに記録されます。このため、不正な使用や配信などを防止することができます。

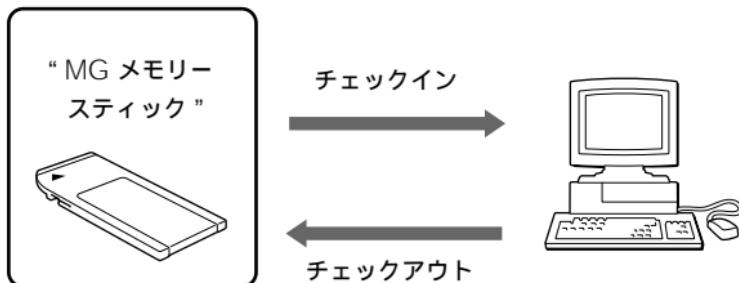
音楽の転送について(チェックイン / チェックアウト)

デジタル音楽データをパソコンのハードディスクに保存したら、次に OpenMG Jukeboxを使ってデジタル音楽データを“ MG メモリースティック ”に転送します。

パソコンから“ MG メモリースティック ”へ転送することを「 チェックアウト 」と呼びます。

また、“ MG メモリースティック ”からパソコンへ転送することを「 チェックイン 」と呼びます。

詳しくは、OpenMG Jukeboxのオンラインヘルプをご覧ください。



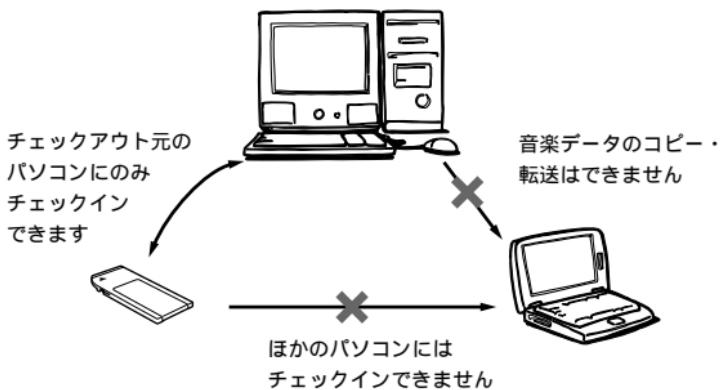
著作権の保護について

オープンエムジー

著作権保護技術「 OpenMG 」の搭載により、著作権者の意思に沿った音楽データの記録・再生が可能です。OpenMG Jukeboxで管理する音楽データは、すべてOpenMG方式で暗号化してパソコンのハードディスクに記録されます。このため、不正な使用や配信などを防止することができます。

OpenMG Jukeboxについて(つづき)

著作権を保護するために、本機での録音や再生にはいくつかの制限事項があります。チェックアウトした音楽データは、チェックアウト元のパソコンにのみチェックインできます。ほかのパソコンへのコピーや転送はできません。詳しくは、「著作権保護による制限事項」(34ページ)をご覧ください。



各音楽データの持つ制限事項について

インターネットなどによる音楽配信サービスの普及により、高品質なデジタル音楽データが手軽に入手できるようになる一方で、不正な配布による著作権の侵害を防ぐため、音楽データ自体に記録や再生方法に制限が付加された状態で配信されるものがあります。

例えば、著作権者の意思により、再生期間や再生回数などの再生制限の付いたデータは、再生時にそれらの制限が適用されます。

マジックゲートメモリースティックの「移動」機能について
EMD(Electronic Music Distribution)サービスなどをを利用してMGメモリースティックに直接取り込んだ曲と、権利情報、付加情報などを、お使いのパソコンのOpenMG Jukeboxに移動することができます。移動について詳しくは、OpenMG Jukeboxのオンラインヘルプを参照してください。

■ご注意

- ・ MGメモリースティック対応機器以外の外部機器とパソコンとの間で曲を移動することはできません。
- ・ パソコンとMGメモリースティックとの間で移動できるのは、権利情報で移動が許可されている曲だけです。

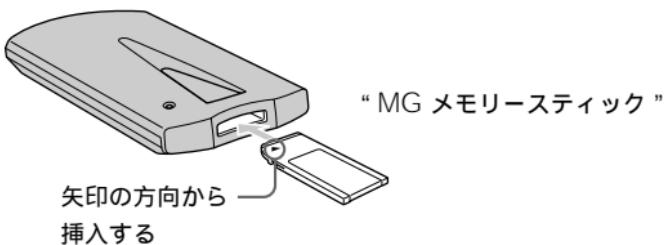
パソコンから“ MG メモリースティック ”に音楽を転送する(チェックアウト)

OpenMG Jukeboxのプレイリストに登録された曲のうち、好みの曲を“ MG メモリースティック ”にチェックアウトできます。

1 “ MG メモリースティック ”を本機に差し込む

■ご注意

差し込む際は、“ MG メモリースティック ”の向きにご注意ください。無理に逆向きに入れようとすると、本機の“ メモリースティック ”挿入口や“ MG メモリースティック ”本体が破損する恐れがあります。



パソコンから“ MG メモリースティック ”に音楽を転送する る(チェックアウト)(つづき)

2 音楽データを“ MG メモリースティック ”に転送する (チェックアウト)

- 1 OpenMG Jukeboxを起動し、「チェックイン / アウト」タブをクリックしてチェックイン / アウト画面を表示する。
“ MG メモリースティック ”がコンピュータに認識されて、画面の右側に“ MG メモリースティック ”内の一覧が表示されます。

「チェックイン / アウト」タブ
「チェックアウト」ボタン



プレイリストリストビュー

- 2 チェックアウトする曲を含むプレイリストを指定する。
プレイリストの曲一覧が、中央のリストビューに表示されます。

- 3 プレイリストのリストビューからチェックアウトする曲をクリックして選択する。

複数の曲を一度にチェックアウトする場合はCtrlキーを押しながら、曲名をクリックします。

4 (チェックアウト)ボタンをクリックする。

選んだ曲のチェックアウトが始まり、“ MG メモリースティック ”内の曲一覧の最後に追加されます。

■ ご注意

チェックアウトには1ステップモードと2ステップモードがあります。2ステップモードに設定されているときは、この後  (開始)ボタンをクリックしてください。

詳しくはOpenMG Jukeboxのオンラインヘルプをご覧ください。

チェックアウトを途中で中止する

 (中止)をクリックする。

■ ご注意

チェックアウトを始めたら、完了するまでUSBケーブルや“ メモリースティック ”を抜かないでください。データの破壊や故障、誤作動の原因となります。

MP3、WAVファイルなどの取り込み (インポート)について

OpenMG Jukeboxでは、以下の形式の音楽ファイルを取り込む(インポート)することができます。

- MP3ファイル

Raw MP3(拡張子 : .mp3)およびRIFF MP3(拡張子 : .wav、.mp3)をインポートできます。

16ビット、モノラル / ステレオ、32kHz / 44.1kHz / 48kHz。

- WAVファイル

リニアPCM、16ビット、モノラル / ステレオ、32kHz / 44.1kHz / 48kHz。

- WMT(Windows Media Technologies)対応のファイル

16ビット、モノラル / ステレオ、44.1kHz。なお、WMT対応の音楽ファイルの著作権情報によっては取り込めないことがあります。

OpenMG Jukeboxからマジックゲートメモリースティックリーダー/ライターにチェックアウトするには取り込んだ音楽ファイルをATRAC3に変換する必要があります。OpenMG Jukeboxのインポート機能では、ATRAC3に変換した上でOpenMG Jukeboxに音楽ファイルを取り込むことができます。また、以下の設定を行うと、インポート時に本機にチェックアウトできる形式が自動的に選択されます。

- 1 [ツール]メニューの[設定]を選び、[インポート]タブをクリックする。
- 2 [インポート後のファイル形式]で、[所有する外部機器・メディアに応じて、自動的に最適なフォーマットにする。]を選び、「マジックゲートメモリースティックデバイス」を選択。
(インポートの方法について詳しくはOpenMG Jukeboxのオンラインヘルプをご覧ください。)

■ご注意

・インポートで指定されたオリジナルのMP3/WAVファイルは再生やチェックアウトなどの操作の際に参照されますので、移動または削除される可能性があるファイルを指定する場合には、あらかじめハードディクス内の別のフォルダにコピーしてからインポートしてください。

参照されたファイルがCD-ROM等の取り外しのできるメディアにある場合、もしそのメディアが取り外された状態で、再生またはチェックアウトしようとすると次のようなエラーメッセージが表示されます。

再生しようとすると：「指定された曲を再生することができません。音楽ファイルが見当たりません。」

チェックアウトしようとすると：「チェックアウトできない曲が検出されました。曲の権利情報を取得できませんでした。」

また、参照されたファイルがネットワーク上にある場合に、そのネットワークが切断されていると、上記のエラーメッセージが表示されることがあります。

・曲を削除する際、「音楽ファイルをPC上から削除する」を選択するとインポート指示されたオリジナルのMP3/WAVファイルが削除されますのでご注意ください。

“メモリースティック”使用上の注意

フォーマット(初期化)について

“メモリースティック”は、標準フォーマットとして専用のFATフォーマットで出荷されており、すぐにお使いになれます。

フォーマット(初期化)が必要な場合は必ず、“メモリースティック”専用機器で行ってください。

本機でフォーマットする場合は、付属の「メモリースティックフォーマッタ」ソフトウェアを使って、下記の手順に従って行ってください。

「メモリースティックフォーマッタ」ソフトウェアの使いかたについて詳しくは、このソフトウェアのオンラインヘルプをご覧ください。

「OpenMG Jukebox」でもフォーマットできます。詳しくはこのソフトウェアのオンラインヘルプをご覧ください。

■ ご注意

すでにデータが書き込まれている“メモリースティック”をフォーマットすると、そのデータは消去されてしまいます。誤って大切なデータを消すないようにご注意ください。

1 本機に“メモリースティック”を入れる。

入れかたについて詳しくは、25ページをご覧ください。

2 [スタート]ボタンをクリックして[プログラム]にポインタを合わせ、[Memory Stick Utility]を選んで、[Memory Stick Formatter]をクリックする。

3 “メモリースティック”が認識されているドライブが選択されていることを確認してから、[フォーマット開始]をクリックする。フォーマットが始まります。

データを書き込み禁止にする

大切なデータを誤って消してしまうことのないように、“メモリースティック”には書き込み禁止のタブがついています。このタブを左右に動かして、

“メモリースティック”を書き込み可能に、あるいは書き込み禁止にできます。

- 書き込み可能

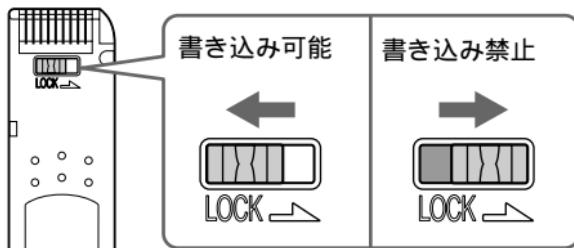
データの書き込みが可能な状態です。

- 書き込み禁止

タブを右にスライドさせると、書き込み禁止の状態になります。

データの読み出しができますが、書き込みはできません。

“メモリースティック”裏面



主な仕様

MG メモリースティック リーダー / ライター

インターフェース: USBインターフェース

動作電圧 DC5V(USBケーブルより供給)

消費電流 動作時 最大100mA

PC サスPEND時 最大500μA

外形寸法 約68 × 20 × 108mm(幅 × 高さ × 奥行き)

本体質量 約65g

使用環境 0 ~ 40 (結露のないこと)

ソフトウェアをアンインストール(削除)する

Windows 98/Windows 98 Second Edition/Windows Meの場合

- 1 [スタート]メニューから[設定] - [コントロールパネル]をクリックする。
「コントロールパネル」画面が表示されます。
- 2 「アプリケーションの追加と削除」アイコンをダブルクリックする。
「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。
- 3 自動的に削除できるソフトウェアの一覧から「OpenMG Jukebox」を選び、「追加と削除」をクリックする。
OpenMG Jukeboxがアンインストールされます。

Windows 2000/ Windows XPの場合

管理者用のアカウント(Administrator)でログオンしてから、以下の手順に従ってください。

管理者用のアカウントでのログオン方法については、お使いのパソコンのマニュアルなどをご覧ください。

- 1 Windows 2000の場合:[スタート]メニューから[設定] - [コントロールパネル]をクリックする。
Windows XPの場合:[スタート]メニューから[コントロールパネル]をクリックする。
「コントロールパネル」画面が表示されます。
- 2 Windows 2000の場合:「アプリケーションの追加と削除」アイコンをダブルクリックする。
Windows XPの場合:「プログラムの追加と削除」アイコンをクリックする*。
「アプリケーションの追加と削除」ダイアログボックスが表示されます。
- 3 「プログラムの変更と削除」をクリックする。
- 4 「現在インストールされているプログラム」の一覧から「OpenMG Jukebox」を選び、「変更 / 削除」[Windows XPの場合は[変更と削除])をクリックする。
OpenMG Jukeboxがアンインストールされます。

* クラシック表示ではダブルクリック、カテゴリ表示ではクリック。

故障かな？と思ったら

症状	原因 / 対策
USBドライバをインストールできない	<ul style="list-style-type: none">正しく接続されていない。 →正しく接続する。(17ページ)パソコンのUSB端子に本機以外の機器が接続されている。 →キーボード、マウス以外のUSB機器を取りはずす。“メモリースティック”が挿入されていない。 →“メモリースティック”を挿入する。
エクスプローラまたはマイコンピュータでアイコンが表示されない	<ul style="list-style-type: none">正しく接続されていない。 →正しく接続する。(17ページ)“メモリースティック”が挿入されていない。 →“メモリースティック”を挿入する。ドライバーがインストールされていない。 →付属のCD-ROMからドライバーをインストールしてください。(OpenMG Jukeboxインストールと同時にドライバーもインストールすることができます。)(13ページ)
パソコン上の音楽データが使えなくなった	<ul style="list-style-type: none">Windows Me の「システムの復元」を行った。(11ページ) →バックアップデータがあるときは、バックアップデータを戻してお使いください。バックアップツールの使い方はOpenMG Jukebox上のオンラインヘルプをご覧ください。
“メモリースティック”を差し込むとアクセスランプが点滅する	<ul style="list-style-type: none">“メモリースティック”的端子に異物が付着している。 →“メモリースティック”的端子に埃やゴミなどが付着していないか確認し、異物を取り除いてから、再度差し込んでください。

その他

著作権保護による制限事項

OpenMGでの著作権保護による制限事項

「OpenMG Jukebox」ソフトウェアは、音楽コンテンツの著作権保護の仕組みとして、ソニーの開発した著作権保護技術「OpenMG」を採用しております。著作権保護された音楽データをパーソナルコンピュータで取り扱うために、OpenMGはSDMIの取り決めに従って高度な暗号化技術を用いています。このため、ご使用いただくにあたり以下のようないくつかの制限があることをご理解ください。

- ・「OpenMG Jukebox」を用いてコンピュータのハードディスクに入れた音楽は、そのデータを他のコンピュータ等にコピーしても再生することはできません。
- ・コンピュータから“ MG メモリースティック ”に転送(チェックアウト)した音楽は、そのデータを他のコンピュータ等にコピーしても再生することはできません。
- ・“ MG メモリースティック ”に転送(チェックアウト)した音楽データは、転送元であるコンピュータ以外に転送(チェックイン)することはできません。
- ・複数のコンピュータに同一の「 OpenMG Jukebox 」をインストールすることはできません。
- ・音楽データの利用方法に関する条件(Usage Rule)について著作権者やサービス事業者の意志により、音楽データに利用条件(Usage Rule)が付加されている場合、この条件に従った操作のみが可能になります。音楽CD等で利用条件が付加されていない音楽データの場合は、SDMIの基本ルール(Default Usage Rule)に従った操作のみ可能です。この基本ルールでは、「ひとつの音楽データにつき、チェックアウトの回数制限は3回まで」となっています。

- ・「OpenMG Jukebox」ソフトウェアにて取り扱えない音楽データについて本ソフトウェアでは、SDMIの取り決めにより、コピー禁止信号が埋め込まれている音楽データを取り扱うことはできません。
- ・「OpenMG Jukebox」ソフトウェアのバージョンアップについて本ソフトウェアは SDMI の現在の取り決めに基づいて作られています。この規定が将来、新規定に移行した場合、本ソフトウェアの一部の機能は使えなくなる可能性があります。この場合には、アップグレードにて対応させていただく予定です。なお、アップグレードは有償とさせていただく場合があります。あらかじめご了承ください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックをこの説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはテクニカルインフォメーションセンター(右記)にご相談ください。

部品の保有期間について

当社では、MG メモリースティックリーダー/ライターの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後最低8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、テクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。

お問い合わせ窓口のご案内

ポータブルオーディオ・

カスタマーサポート

マジックゲート メモリースティックリーダー/ライターに関する最新サポート情報や、よくあるお問い合わせとその回答をご案内するホームページです。
<http://www.sony.co.jp/support-pa/>

OpenMG Jukeboxのホームページ
OpenMG Jukeboxについての情報をご案内します。

<http://www.openmg.com/jp/>

テクニカルインフォメーションセンターお使いになってご不明な点、技術的なご質問、故障と思われるときのご相談は下記までお問い合わせください。

電話:048-794-5194

受付時間:月~金 午前9時から午後6時まで(祝日、年末年始、弊社休日を除く)

ご相談になるときは次のことをお知らせください。

- 型名:MSGC-US10
- ご相談内容:できるだけ詳しく
- お買い上げ年月日
- ご使用のパソコンの環境
 - ご使用のパソコンの機種名
 - OSのバージョン
 - メモリー容量
 - ハードディスクなどの容量
 - 一緒に使いのアプリケーションソフトウェア名

ソニー株式会社
〒141-0001 東京都品川区北品川6-7-35

<http://www.sony.co.jp/>

Printed in Japan

この説明書は再生紙を使用しています。